

令和8年度 市長とすまいるトーク

令和8年度新潟市の取組について

～新潟の明るい未来を切りひらく！～



新潟市長 中原 八一

令和8年度予算のポイント

■ **最優先課題** **3 ページ**

「能登半島地震からの復旧・復興」と「物価高騰への対応」

■ **予算の力点**

力点1 活力あふれるまち **4 ページ**

交流人口の拡大、拠点性の向上 など

力点2 若者や子育て世代に選ばれるまち . . . **6 ページ**

若者や女性が挑戦できる環境づくり

将来を担うこどもたちの育成 など

力点3 持続可能なまち **9 ページ**

安心・安全なまちづくり、持続可能な地域づくり など



田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市

最優先課題

能登半島地震からの復旧・復興

復旧・復興を着実に進めるとともに、災害に強い地域づくりを推進

(1) 公共インフラ等の復旧

- 道路、下水道、公共施設等の復旧

(2) 生活の再建支援

- 被災者に寄り添った支援を継続

(3) 街区単位の液状化対策

- 事業実施に関する意向確認のアンケート調査を実施
- 試験施工の実施を進め、集水管などの施設配置計画を作成

物価高騰への対応

長引く物価高騰で厳しい状況にある市民や事業者の皆さまへの支援

(1) 市民の皆さまへの支援

- 市民一人あたり3,000円を給付（実施中）
- 子育て世帯に20,000円を給付（終了）
- 住民税非課税世帯へ8,000円を給付（5/29受付終了）

(2) 地域経済の活性化

- プレミアム付デジタル商品券を発行（夏ごろ）

(3) 給食費の保護者負担の軽減

- 小学校 R8年度保護者負担なし
- 中学校 R8年度据え置き（R6水準）

力点1 活力あふれるまち

交流人口の拡大

国際会議や大規模イベントを追い風に交流人口の拡大を図り、新潟経済の活性化へ

ASPAC新潟大会

日 程：6月11日（木）～14日（日）
会 場：朱鷺メッセ
実施主体：国際青年会議所（JCI）（主管：新潟青年会議所）
参加人数：国内外約8,000人（うち海外約3,000人）

東京ガールズコレクション (TGC 新潟 2026)

日 程：7月18日（土）
会 場：朱鷺メッセ
来場者数：約8,000人

全国消防救助技術大会

日 程：8月22日（土）
会 場：鳥屋野潟南西部臨時駐車場 など
来場者数：約20,000人

世界湿地都市 ネットワーク市長会議

日 程：11月30日（月）～12月2日（水）
会 場：朱鷺メッセ
参加人数：認証都市関係者 約200人

国内初開催 ラムサール条約に基づく「**湿地都市認証**」を受けた都市（27か国74都市）による国際会議

詳細な情報はこちら↓
※随時更新



力点1 活力あふれるまち

拠点性の向上

本市の魅力をもさらに高め、拠点性の向上を図ることで地域の外から消費や投資を呼び込む

新潟駅周辺地区の整備

- ・ 令和8年4月 万代広場の一部使用開始
ペデストリアンデッキ、トイレなど
- ・ 令和8年6月 開催
「まちなかはなみどりフェア プレイメント」
- ・ 令和9年春：万代広場の全面使用開始

アリーナの実現を核とした 白山エリアのスポーツ施設再編

アリーナの新設、市陸上競技場の改修（または建替）について、民間活用を前提に、本格的な検討に着手

新潟駅万代広場完成イメージ図



白山エリアイメージ図



力点2 若者や子育て世代に選ばれるまち

若者や女性が挑戦できる環境づくり

東京一極集中による若者の転出超過や出生数の減少による人口減少が続く中、選ばれるまちとなるために、若者や女性が挑戦できる環境づくりを推進

(1) 女性に魅力ある職場づくり支援

女性が働きやすく、活躍できる職場を増やすために、**中小企業等を対象に、専門家や学生の生の声を聴く機会を設け、企業の意識向上に向け支援**

(2) 女性の就農環境改善

農業の現場において、女性が働きやすい環境整備を進め、女性の農業への参画や定着促進を推進

- ・ トイレ、シャワー室などの設備導入支援
- ・ 女性活躍のための取組に対する費用への支援

(3) 市内就労の促進

新潟で暮らす魅力・働く魅力を伝えるセミナー・体験会を開催

- ・ **学生の声を反映させながら『新潟で暮らす魅力』を伝えるセミナー・体験会を実施することで、若者の市内就労への意識を醸成**

(4) 生成AIビジネスリサーチ・システム

事業者の採用力強化や稼ぐ力の向上を図るため、「ビジネスリサーチ＝市場調査」を、AIの力で効率化するシステムを構築

- ・ 15～29歳の若者に関する多様なデータを基に、約400人分の仮想上の若者を作り出し、自由にアンケート・インタビューを行うことで**若者の意識や行動、価値観の把握が可能**

カ点2 若者や子育て世代に選ばれるまち

こどもの居場所づくり

出張児童館・児童館の取組を拡充し、こどもに地域での健全な遊びの場を提供

出張児童館の拡充

児童館から地域の小学校や公民館などに出張し、健全な遊びの場を提供する出張児童館の取り組みを拡大

- 新規実施：江南区、西蒲区
- 拡充実施：秋葉区、南区（継続実施：北区）



児童館の新規設置

これまで児童館のなかった秋葉区のこどもの居場所の拠点として、初の児童館を設置

- 開設場所 新津健康センター
- 開設予定 令和8年秋ごろ



カ点2 若者や子育て世代に選ばれるまち

中学生のための地域クラブ活動支援

こどもたちが多様なスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる
機会の確保・充実

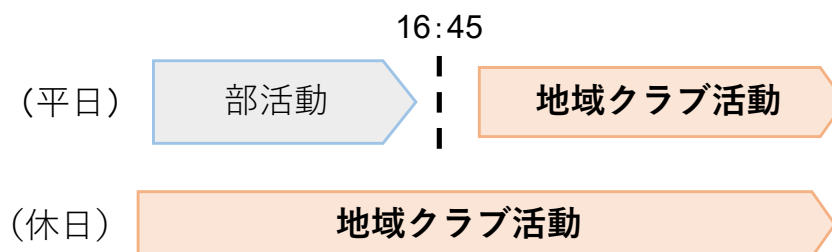
部活動の地域展開が本格始動

< R8以降の部活動 >

平日：最長16:45まで（学校によっては実施しない）

休日：実施しない

平日も休日も **地域クラブ活動** が中心



こどもたちが参加しやすい環境整備

- 参加したい地域クラブの検索などができる ポータルサイトに400以上のクラブを掲載
→ **こどもたちの選択肢の幅が拡大!**
- 地域クラブにおける 中学校施設の優先利用
- 地域クラブへの補助金拡充
→ **指導者謝金のほか消耗品購入も対象**

地域クラブの設立・運営支援の拡充

- 安心安全な活動体制に向け 地域クラブの認定制度・指導者登録制度の構築



力点3 持続可能なまち

安心・安全なまちづくり

安心・安全なまちの土台づくりと、防災・減災の取組を強化

下水道施設の機能確保

- ・令和8年1月に発生した東区の道路陥没事故を受けた陥没箇所本復旧工事
- ・老朽化が進む下水道施設の予防保全的な維持管理を着実に実施

避難環境の整備

- ・避難環境整備のための資機材を増強：ストレッチャー、蓄電池、ソーラーパネルなど
【参考 令和7年度】
避難所生活環境向上のための備蓄物資を増強：トイレ TENT、ルーム TENT、簡易ベッドなど

感震ブレーカー設置促進

- ・地震を感知すると自動的にブレーカーを落とす感震ブレーカーの設置費用を助成
(対象者：障がい者など)

災害リスク読み上げツールの導入

- ・視覚障がいのある方や外国人等へ向け、スマートフォンアプリで周辺の災害リスク等を読み上げる多言語対応のシステムを導入

力点3 持続可能なまち

公共施設の“これから”

課題

- ・ 公共施設の多くは昭和50年代に整備され、老朽化による修繕や建替の時期が一斉に到来
- ・ 人口減少が進み、世代構成が変化中、施設の使われ方も変化

取組 加速化

- ・ 昨年度から全庁一丸となり、地域対話を加速化
- ・ 市長・副市長・区長が全ての地域コミュニティ協議会との **対話を完了**

11地域で計画策定 ⇒ 今年度はさらに多くの地域で具体的な検討に着手

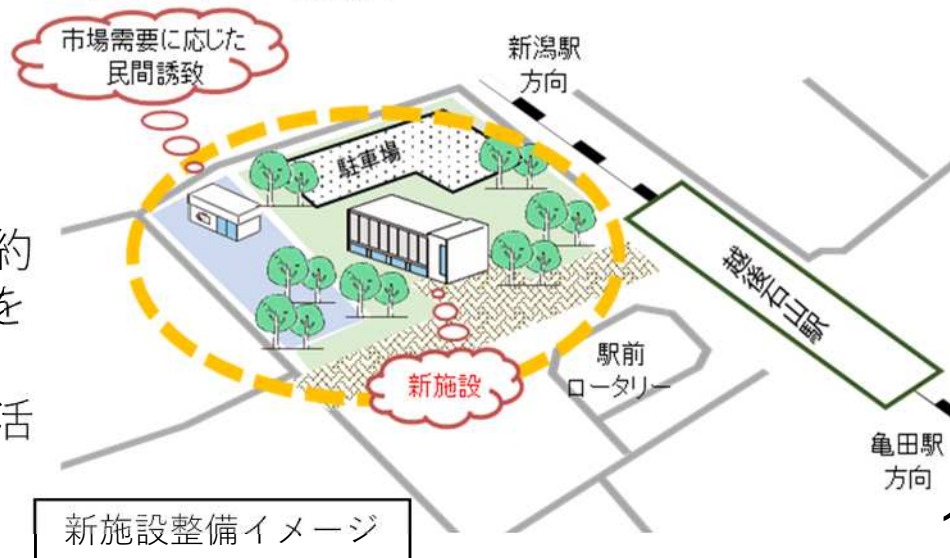
ポイント

持続可能なまちづくりに向けた「最適化」の視点
「質」の向上、「量」の削減、「経費」の削減

事例

石山・東石山地域（東区）

- ・ 老朽化した既存施設の機能を集約し、多世代が集える多機能拠点を越後石山駅前に新たに整備
- ・ 民間の資金や技術、ノウハウを活用



未来に向かって活力ある新潟市を実現



ご清聴ありがとうございました